

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和五年六月十三日発行（毎月一回十三日発行）

定価 五〇〇円

第981号

高 知
道 會
書 跳 龍

秋季昇段・級試験課題発表

第七十九卷

7
月 号

町田碧峰書

禪

山

一九二六年正月

題

木

禪

剛毅木訥

蜀素帖

米芾

無逆興擷古書同岸幘。眞璧黨初相采灌殊酒心求
 易憲翩、道鶴雲中侶主貞
 在玆那一顧遯業來若業何
 深至港、具區無底心可伶一默
 終不易枉駕殷勤尋漫仕

無逆。興擷古書同岸幘。眞璧黨初相慕。灌髮洒心求易慮。翩々遼鶴雲中侶。土苴庭鴟那一顧。遯業來器業何深至。
 湛々具區無底沚。可怜一點終不易。枉駕殷勤尋漫仕。
与に古書を握り 岸幘を同じくす。 淳朋 璧党 初めより相い慕い、灌髮洒心 處を易えんと求む。 翩々たる遼鶴 雲中の侶、土苴 庭鴟 那ぞ一顧せん。遯業は何ぞ深く至れる、湛々たる具区 底沚無し。怜れむ可し 一点 終に易えず、駕を枉げて殷勤に漫仕を尋ぬ。

蜀素帖

米芾

蜀で織られた絹に書かれた自作の詩巻である。末尾に「元祐戊辰九月廿三日溪堂米黻記」とあり、元祐三年（一〇八八）に、当時、湖州の知事であった林希の招きを受けてその任地に遊んだときに書かれたもので、米芾三十八歳の書である。荒い絹地にしかも烏絲欄が施されているので、書にいくぶんの気負いと慎重さがうかがえるが、線が澄みきっている。

廣末幽念書

乱瀑蒼崖を界り 松風雨を吹いて急なり 石廊虚しく人無く 高寒立つ能わず

家深家美山生松以雨急石
高巖壁人高寒立

幽念書

大原桂園書

雨餘千畳暮山綠花落一溪春水香

雨餘千
堂
暮山綠
花落一
溪春水香

大原
桂園書

桂園書

梅川桂龍書

陽邊
歸雁
洛

帰雁

洛陽の邊

太 古 山 静 仙 以

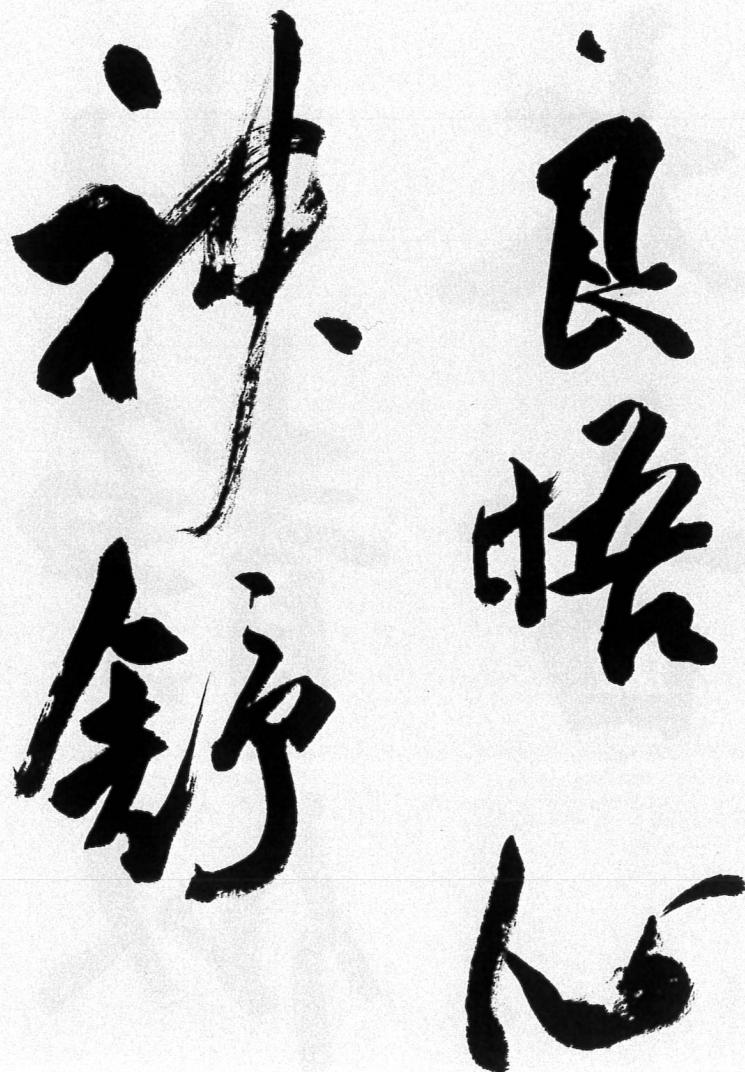
梅 川 桂 龍 書

山 静 に し て

太 古 に 似 た り

福 原 曉 雲 書

良 晤 心 神 舒 ぶ
りょうご しんじんの ぶ



福原曉雲臨

迺業來器業何



江西澄翠書

山中夕歸芳艸路
橋鶴徐公荷葉
漢昌書于西山極山

西山極山臨

維乾隆元年歲次戊戌
九月庚午朔吉壬申
心齋

岩村祥臨

特尊書狀並謹領
訖。以清儀指閑

祥
集

岡林邦心臨

比清期被雲因亟
奉此。仰將適照

邦心書

皆尊書狀並謹領訖
迫以法係
志人詩
精闢談

尉北地大守父臻少貴名
妙郡不牽早世是以位不

志人詩

小笠原広人

鶴髮縮頸還青松本無

華安得保歲寒

志人詩

弘田賀峰

與橙古書同岸憤淫
朋嬖黨初相慕

志人詩

岩河里華

名而猶生寫今更空
有情勤取之形

志人詩

池 芳春

然分布於只手而絕
徑而橫
志人詩
橫安一位如沛宋臺
衆尊知難事沛

志人詩

矢野峰臣

遊梁宦賦枚漁歌堪
畫憂又有魯公陪

志人詩
求易憲翩々遡鶴雲中

侷土苴枉鴻那一顧
連上松端秋花起絳

志人詩

烟旖旎雲錦殷

志人詩

杉本美邦

坂本碧香

明石美桂

大井 淳

武政幽雅

条幅当選作品 梅川桂龍選評

★天位

小笠原広人君||線やや硬いが、筆が良く動き力強い作。

矢野峰臣君||筆の喰い込み浅い、気楽に運筆されている点はよい。
弘田賀峰君||少し一本調子では。墨量の変化あれば更によくなる。
岩河里華君||巾の流れよい、筆の効きもよい。一字目やや大に過
ぐのでは。

池 芳春君||手馴れた運筆、一ヶ所見せ場が欲しいなあ。

★地位

武政幽雅君||墨量の変化あり軽快。落ち着きのある線の研究を望
みます。

大井 淳君||ゆつたりとした線で安心して見えます。

明石美桂君||氣負いなく素直な臨。米芾の線を学んでください。

★人位

坂本碧香君||懸命な書、態度がいいですね。益々ご加勉を。
杉本美邦君||忠実に臨されていて作品もよくまとめている。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会△

6月の審査は25日(日曜)午前9時30分に開始
します。審査会場は高知城ホールです。

急川
上の
流の

中 學 一 年 課 題 廣 末 幽 念 書

風花
月鳥

の谷
水川

小学五年課題 隅田亘心書

大夏の
空

川天

の

小学三年課題 大原桂園書

川

風

せ

み

小学一年・ようち・ほいく課題

市原處艸書



学校名	私たちが感じている時間は、									
年	いつでも、どこでも、だれに									
級段	とつても、同じものとはいえ									
氏名	ません。「心の時間」には、									
	さまざまなえいきょうを受け									
	て進み方が変わつたりします。									

学 校 名	
五 年	
級 段	
氏 名	
	残雪というのは、一羽のが んに付けられた名前です。左 右のつばさに、一か所ずつ、 真っ白なまじり毛を持つてい たので、かりゆうどたちから、 そうよばれていました。

学校名	
四 年	
級段	
氏名	
	お父さんは、プラット
	ホームのはしつほの、ご
	みすて場のよくな所に、
	わすれられたようになさい
	ていたコスモスの花を見
	つけたのです。

学校名	鳴り一まは、回つてい
年	長いあなが空いています。
級段	く、中がくうどうになつて、どうのよこには、細
氏名	です。こまのどうは大き

がっこう	た	た	水	の	
	こ	い	中	よ	に
二 ねん	と	な	ブ	う	じ
きゅう だ うん	が	い	ル	な	色
なまえ	な	せ	ド		の
	い	え	ー		
	魚	び	ザ	くら	ゼ
	た	。	ー	げ	リ
	ち。	見	み	。	।

がっこう	ま	て	か	ある
一 ねん	す	、	ら	るま
きゅう うん	。	み	だ	じろは
なまえ		を	た	、
			ま	まるめ
			も	
			り	

がっこう				
ほん	に そ ら に ひ か し の い だ ね	じ ら に は し	き れ い の は	こ れ い だ ね
だん きゅう なまえ				

秋季昇段級試験作品募集

▽師範の部

(受験資格・本会準師範位に限る)

○課題 (李白「自遣」)

對酒不覺暝 落花盈我衣
醉起步溪月 鳥還人亦稀

酒に対して瞑を覚えず／落花 我が衣に盈つ／醉起して溪月に歩すれば
／鳥還／て人も亦稀なり

- 右の詩句を小画仙半折に隸、楷、行草体の三枚と一ページ米芾蜀素帖より、十二文字以上を節臨して計四点出品のこと。
- 作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで姓号を明記すること。
- 当選者は本会師範に推挙する。

▽第一部 (受験資格 一般部段位、級位の者)

○課題

秋草獨尋人去後 寒林空見日斜時

しよこうちく ひとごと ひと 去るの後／寒林 空しく見る 日斜める時

- 右の詩句を小画仙半折に楷、行草体の二枚と一ページ米芾蜀素帖より、十二文字以上を節臨して計三點出品のこと。
- 作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓号を明記すること。
- 当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

▽第二部 (受験資格 一般部級位の者)

○課題

江靜潮初落 江静かに 潮初めて落つ

- 上記を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。
- 作品を楷、行、草の順に貼つぎすること。
- 作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現級位と氏名を明記すること。

△出品料

師範部・八千円／第一部・六千円／第二部・四千円

(作品と同時に納入してください)

- 当選者は初段以下相当段級位に認定編入する。

△学生・学童の部 (毛筆部)

- 第一、二部参考手本を希望される人は本会役員に直接申込んで下さい。
- 潤筆料は条幅三点につき一万五千円、半紙三点につき五千円。

△書体

- 作品の裏にエンピツで学年、現段級位、氏名を書くこと。
- 作品の表には絶対に書いてはいけません。
- 書体は自由です。

▽硬筆作品

- 課題の文字は龍跳七月号(七月二十日締切)の課題字句とします。

- それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学校名、学年、現段級位、氏名を正しく書いて出品してください。

- 出品料 五百円

△作品・出品料の締切

令和五年八月三十一日(木)

※出品料は本会口座に振込んで下さい。

※出品作及び受験料を審査当日、会場に持ち込む場合は、八時三十分～九時迄の受付です。

△審査日時

午前九時から審査準備、十時より審査開始

△審査場所

高知城ホール

〒783-0081

電話

(088) 865-1885

865-1885

865-1885

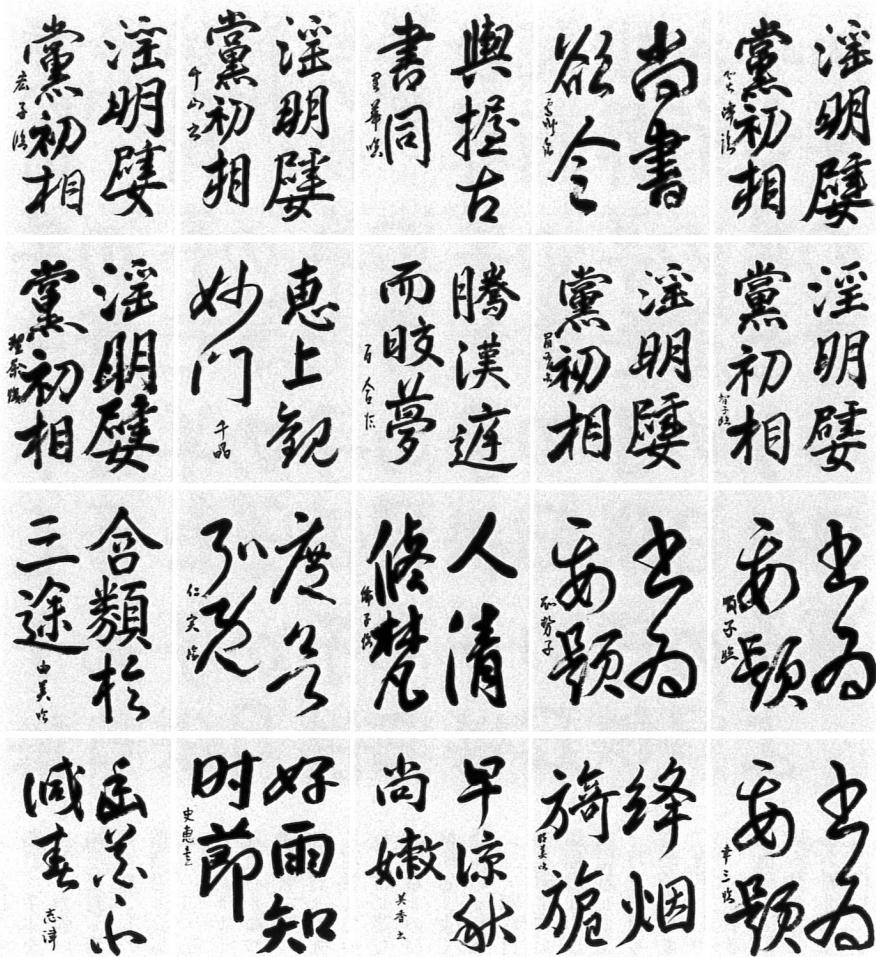
865-1885

865-1885

7

(注) 封筒表に「昇試作品在中」と明記すること

鄉書何處達	鄉書何處達	鄉書何處達	鄉書何處達	鄉書何處達	鄉書何處達	鄉書何處達	鄉書何處達
<small>澄翠君</small>	<small>里華君</small>	<small>久美子君</small>	<small>惠子君</small>	<small>全体</small>	<small>紫陽君</small>	<small>惠花君</small>	<small>和美君</small>
（一・二段目）廣末幽念選評	（二・三段目）岡崎緑水選評	（三・四段目）武内美仁選評	（四段目）岡崎緑水選評	（五段目）武内美仁選評	（六段目）武内美仁選評	（七段目）武内美仁選評	（八段目）武内美仁選評
澄翠君 見事な書きぶりです。里華君 大きく強く表現でき、まとまっている。	全体が強く感じます。紫陽君 ふところの広さをもち、明るい作。	真理君 墨量も効果的で作品全体に品格を感じます。紅花君 小粒だが線強く格調高い作。星子君 力みなく線に温かみを感じる。幽雅君 堅実な書きぶりに好感がもてる。	知勢子君 堂々とした作、字々の姿勢が素晴らしい。英子君 字々明るく力みなくまとめている。仁実君 線に温かみがあり余白もとれ安定している。	幸三君 ゆつたりと五字が納まつて余裕の作。	伸枝君 粘り強く筆圧もよく利いて佳作。	久美子君 温和な線質で明るい。佳作。	美香君 正確な書き方で安定している。志津君 ていねいな運筆で好感がもてる。
和美君 明るい作品でまとまりがよい。	行間をもう少し空けて下さい。	西山極山選評	（西山極山選評）	（西山極山選評）	（西山極山選評）	（西山極山選評）	（西山極山選評）



(一・二段目)

賀峰君 || いつもながら実体な書、老

處艸君 || 練作です。争座位臨、他の作品もこの

里華君 || 練作です。明るく良い作品です。今後

更に筆を吊つてまるやかな

竹山君 || 線質を期待したい。まだ一度原

宏子君 || 本の筆順を見て下さい。全体的には良い作です。今

智子君 || 後は運筆速度の研究を。線は前者と同じ

眉州君 || 筆がよく動き軽快。これか。

千晶君 || 一紙よくまとまっています。

理奈君 || 自然な運筆で爽やかな作品。

順子君 || 坚さがあるのも動きが大きい。

百合君 || 紙によくまとまっています。

塙地桂峰君 || 前田秀華

選評

(二・三段目) 知勢子君 || 笔がよく動いて軽快。これか。

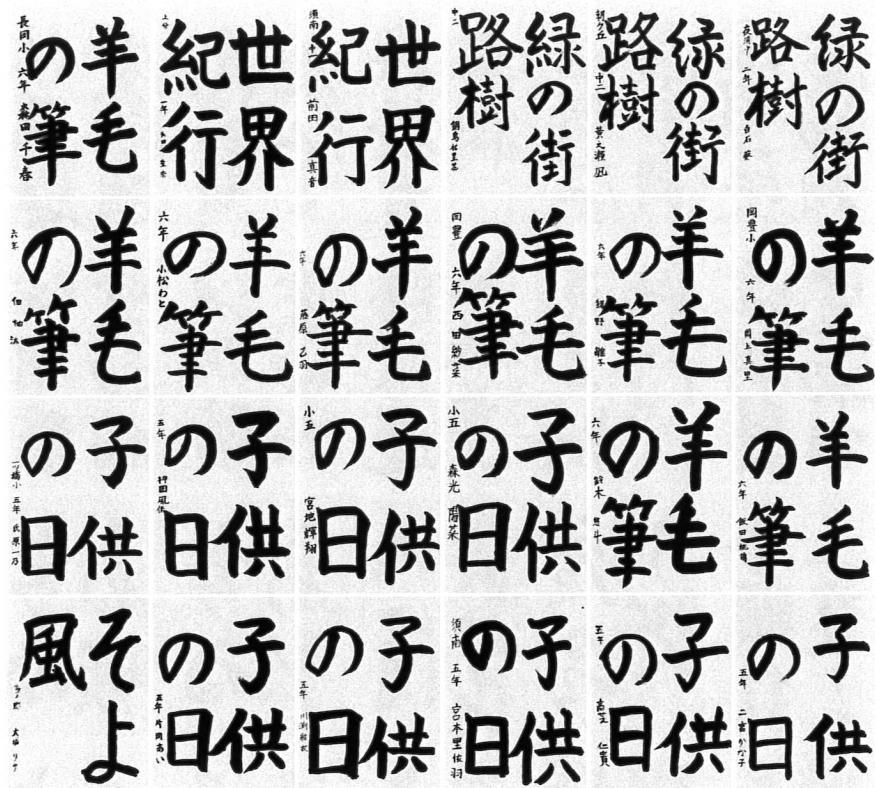
幸三君 || 一紙よくまとまっています。

明美君 || 動き大きく堂々とした作。

(四段目) 美香君 || 丸みのある線で大らかで良

い。志津君 || 流れは良いが行間が少し狭

学 童 優 秀 作 品



(一段目) 中学部

大八木洋女

選評

葵君||手本をしてかり習っています。
眞音君||元気よく書いています。
聖奈君||元気よく書いています。
祐里花君||清清しさを感じます。
眞音君||しっかりと線で良くまとめていてます。

屈君は力強い線に前月同様拍手です。

真音君!! しつかりした線で良くまとめて います。
里奈君一元気良 く書いて い ます。

(一・二・三段目) 小学六年 大原桂園

真里君＝ゆつたりして います。

鶴子君にしてかり書けています
紗菜君力強いです。

乙羽君||ていねいに書けています

柚汰君：のびのびしています。

悠斗君＝元気に書いています。

(三・四段目) 小学五年 深瀬綠堂

輝翔君はのびやかな線で力強い。名前もていねい。

一乃君は明るくしつかりとしている。

嘉奈子君、はじめに書けている
二貴君のしつかりとした字です。頑張つて只山書いて

下さい。

結衣君は力強く堂々としている。

あい君！ ぐるまと並んで
緑を強い

リサ君||のびのびと書けました

中平美峰選評

選評



(一・二段目) 小学四年

悠成君||よくまとまっています。

「風」上手。

來音君||おおらかに書けました。

改太君||ゆつくり書いてみましょう。

偉空君||元気良くかけました。もう少し小さくてもいい

いね。

遙音君||上手にまとめています。

蒼栄君||上手に書けました。この調子でがんばって。

奥堂皓月 選評

(二・三段目) 小学三年

実咲君||のびのびとして良い。「水」のはらいの位置

に気をつけて。

朝陽君||おちついて書けています。

そら君||からだが動いて強い字です。

碧空君||まじめに書けました。

舜翔君||大きくなりやかです。

蒼功君||力強くまとまっています。

(三・四段目) 小学二年

太希君||しつかりとていいに書けています。

あみ君||元気よくまとまっています。

菜央君||力づよくていねいに書けています。

息吹君||おちついていいに書けています。

光騎君||元気いっぱいに書けています。

逢生君||かたちよく書けています。

(四段目) 小学一年・ほいく

すず君||げんきにかけています。

れんたろう君||かたちもよくおちついてかけています。

かほ君||力づよく書いてげんきです。

みおり君||げんきに力づよくかけました。

みぞみ君||大らかにかけています。

佐々木港花 選評

硬筆優秀作品品

上分
西森
美陽
濱

久礼 一ツ橋 濱田 氏原 一奏

須南 秦
前田 玉城
來音 遙音

一ツ橋 池 芽依奈
長岡 森田 実咲

每月半ばの一週間ほど、お母さんは仕事がいそがしくて帰りがおそくなる。その代わり、お父さんが夕食に合わせて早めに帰つてくる。それが「お父さんウイーク」だ。	毎月半ばの一週間ほど、お母さんは仕事がいそがしくて帰りがおそくなる。その代わり、お父さんが夕食に合わせて早めに帰つてくる。それが「お父さんウイーク」だ。
長岡小六・九四：森田千春	蒲内六・九四：美島乙世花

名前をつけたと仕られるな んで、初めてのことだ。これ までに自分で名前をつけたこ とがある生き物を思い出す。 お祭りのときによくた お祭りのときによくた となしい金魚	名前をつけたと仕られるな んで、初めてのことだ。これ までに自分で名前をつけたこ とがある生き物を思い出す。 お祭りのときによくた お祭りのときによくた となしい金魚	名前をつけたと仕られるな んで、初めてのことだ。これ までに自分で名前をつけたこ とがある生き物を思い出す。 お祭りのときによくた お祭りのときによくた となしい金魚	毎月半ばの一週間ほど、お 母さんは仕事がいそがしくて 帰りがおそくなる。その代わ り、お父さんが夕食に合わせ て早めに帰つてくる。それが お父さんウイークだ。
浦内五、八、宮地輝翔	浦内五、八、宮地輝翔	浦内五、八、宮地輝翔	浦内五、八、宮地輝翔
一橋五、七、氏原一乃	一橋五、七、氏原一乃	一橋五、七、氏原一乃	一橋五、七、氏原一乃
久礼五、六、濱田奏	久礼五、六、濱田奏	久礼五、六、濱田奏	久礼五、六、濱田奏

名前をつけと任せられるな んで。初めてのことだ。これ までに自分で名前をつけたこ とがある生き物を思い出す。 お祭りのときにすぐつた、お となしい金魚。それだけだ。
庄山平一 澤田理
須崎五郎 川西櫻空
秦四六 王城遙音
須崎五郎 初回

エンジンをかけたとき 遠くから、元気そな男の子の声が近づいてきました。 お母ちゃん、本当にちようち当たよ。本当のちようち当たよ。 江口四二〇・宮崎莉緒	エンジンをかけたとき 遠くから、元気そな男の子の声が近づいてきました。 お母ちゃん、本当にちようち当たよ。本当のちようち当たよ。 江口四二〇・宮崎莉緒
きつつきは、野うさぎ をつれて、ぶなの森にや つて来ました。野うさぎ を、木の下に立たせると、 自分は、木のて、べんの みきに止まりました。	きつつきは、野うさぎ をつれて、ぶなの森にや つて来ました。野うさぎ を、木の下に立たせると、 自分は、木のて、べんの みきに止まりました。

長岡
森田 千春
浦ノ内
美島乙世花

浦内ノ橋 宮地輝翔

須崎山
川澤田
桜木

江ノ口橋 宮崎玉置 莉緒はる

硬筆優秀作品

夜須
浦ノ内 西村 朝陽
宮地 舜翔

浦ノ内 正木 芳尚
西村 太希

うらノ内 藤田 いろは
こんどうすは
すさき

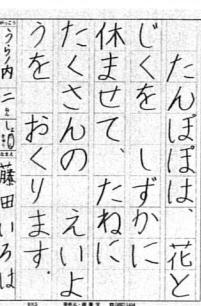
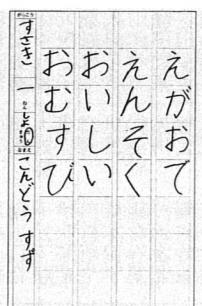
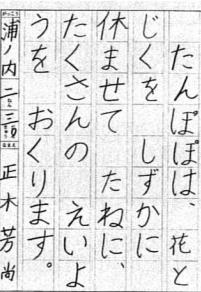
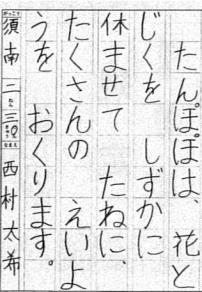
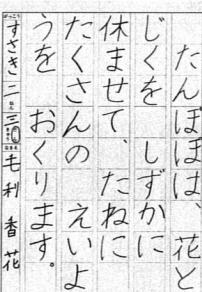
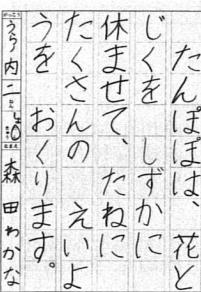
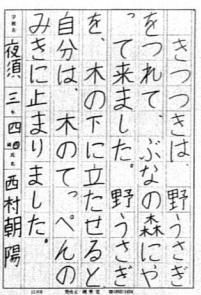
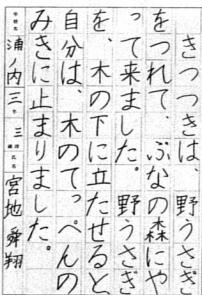
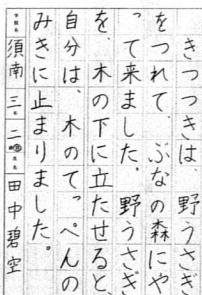
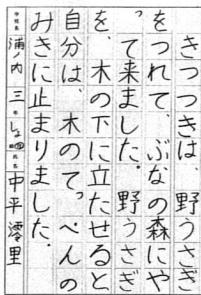
うらノうち やまおかみづき
くれ
くろはらりか

須南
浦ノ内 中平
碧空
中平
碧空

須南
浦ノ内 三・じゅく
中平
碧空
うらノ内 森田わかな
毛利 香花

かみぶん
おおのこう
よしむらはるか
やまむらみおり

あそ
あそ
まつさかのぞみ
やまもとゆきの



第942回 競書成績

○印規定・随意共通昇級

条幅

(※印写真版)

★推薦

※ 小笠原広人
※ 矢野峰臣
※ 弘田賀峰
※ 池 芳春
※ 中平美峰
吉永光翠
中城康華
奥堂朱月
藤原朱月
河村容舟
野中惠花
大八木洋女
水田紅子

※武政幽雅
※大井淳
※明石美桂
伊吹悠道
横田仁美
岩谷紅花
市原處艸
佐竹千施
大平圭子
岩崎竹山
深瀬綠園
丸田宏子
利谷香
大崎紫陽
山本心春
岡林翠
笠原多嘉
広田秋櫻

規定

規
定

審查廣末

高橋由美
氏原美泉
今井真理
田村昭生
山脇佳月
西川崎志津
内仁子

佐山山須旭川田崎筆崎
山須川田崎筆崎
大浜河塚野島桂山
八村容舟桂峰洋堂
深瀬木洋堂
水木洋堂
岡洋堂
岡洋堂
林洋堂
田洋堂
紅洋堂
邦洋堂
心洋堂
本洋堂
空洋堂
仁洋堂
峰洋堂
臣洋堂

野市 ★五 高久越中仁窪旭香佐仁旭須東大旭明佐須東窪
知礼知公淀川筆北川淀筆南洋野筆石川崎洋川
川 川 見

審査 旭筆 多ノ郷 吾桑芸崎須筆安芸須筆吾桑芸崎須筆安芸須筆

段 岩谷井岡村口花道祥
山村川百合玉泉伊吹悠道
下山田村昭生本祝子
大野村妙慧賀
鎌倉春葉
岡田孝北
藤原朱美桂
横山友香
利谷喜子
大平圭子
中澤里花

高橋桜芳
別役美佐
山本喜恵
岩崎竹山
松浦明子
芝田春琴
平井桂草
山崎旭峰

香山中 北田公 ★ 審査 越香旭須旭須旭南旭佐香窪
知北筆崎筆崎筆筆國筆川北川

須久越室久窪鷹窪窪窪南窪
南礼知戸礼川ノ川川川川国川
巣

津野喜景
岡本薰山
森啓人
小笠原広人
鈴木輝代
大井淳子
濱田順子
久保地初恵
山崎隆志
岡本美水
横山星舞
高橋伸水
濱田幸子
杉本邦子
武内 美仁
三段
井上知勢子
中澤英子
杉本美邦

中公
旭筆

川大	原紀美子
川中	藤原勝子
川政	和田恵美
川内	中内泰子
川恵	掛舟恵美
品原	喜久美子
品原里	里原千鶴
松島	松島利恵
根口	根口千裕
西山	市川美香
西山	山中英男
極山	岡田由紀
極山	小松悦枝
一級	郷

村田啓子 坪内倫子
横田仁美 森澤美佑
川上本祐貴 伸幸三
林本心春 隆光

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切つて下さい。
★臨書は出典名を記入のこと。

隨意

久礼 濱田美恵子
南国 田内史恵
高知 ○川崎志津
★二級
仁淀川○後藤和美
仁淀川○山中あや
★五級
仁淀川○城尾 彩
★六級
審査 福原 晓雲
★師範
隨 意
弘田賀峰
市原處艸
岡林邦心
深瀬綠堂
岩河里華
江西澄翠
矢野峰臣
浜崎洋堂
野中恵花
水田紅山
西山極山
奥堂皓月
大原桂園
中平美峰

★ 準帥範	岩崎竹山 丸田宏子 桑原智子 別役美佐 西内仁美 氏原美泉 窪田碧泉
審査	中村里園 山本喜恵 山中紅風
六段	芝田春草 吉田深美 横山桂華
前田	池芳春 高橋櫻芳
秀華	松浦明子 大崎紫陽 山崎峰裕
山村	門田惠子 田村和子 田村裕子 大崎美喜
田村昭生	小野山羽花 大崎桂草 崎井峰裕

戸山百合
藤原朱鳳
大野元祥
玉泉中沢
美賀里
伊吹井口
花道横谷
喜子山友
香橋本祝
子大平圭
圭岡村妙
慧鎌倉岩
谷春葉紅
花

池川千晶
浪上理奈
坂本絢子
亀井司郎
浜恵子松本
世津林翠笠
原多嘉

濱田順子
小笠原広代
鈴木輝代
横山星舞
濱田幸子
大井淳
久保地初
恵恵

審査	西森啓助
塚地	山崎隆志
桂峰	山崎
三段	★★★
井上知勢子	坪内倫子
森澤美佑貴	中澤英子
林 隆光	村田啓子
杉本美邦	杉本美邦
二段	★★
高橋由美	横田仁美
山崎幸三	森澤美佑貴
西尾明美	林 隆光
大原紀美子	高橋由美
品原律子	山崎幸三
吉村久美子	西尾明美
横川美代	大原紀美子
藤原勝子	品原律子
和田恵美	吉村久美子
前田伸枝	横川美代
掛水勝恵	藤原勝子
中内泰子	和田恵美
品原里皇	前田伸枝

審査 岡林 邦心
★二級
★★六級
○川崎志津
田内史事
市川美季
○城尾 彩

須南 朝ヶ丘	一年 ★特待生	南 竹内雄	須崎 鍋島祐里	夜須 朝ヶ丘 介良 小松諭	審査 大八木洋 二年 ★特待生	中学部
前田真 橋田茉				白石 黄之瀬		

第876回毛筆成績

毛筆成績	○印は昇級
★九段	上分 朝ヶ丘
★八段	上分 松浦由奈
★八段	上分 窪田愛生
★九段	愛宕 ○森田明日香
毛筆六年	審査 大原 桂園
★八段	長岡 南 森田千春 奥崎誠真
奈音	星 花 実 凧 葵
岡豊	女
岡上真里	

(出品票)

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代

5年
7月
規定地
名氏
名段
級

のり代

5年
7月
隨意臨
は出典名氏
名段
級

多ノ郷 ○はしだかほ	★八級	○森光れんたろう	須南 宮本はるま	上分 よしむらはるか	須崎 金堂すず	★二級	★初段	審査 佐々木港花	もうひつ一年	秦 ○清家逢生	★十級	多ノ郷森光りいな ○清家逢生	
越知 米澤知那	★七段	吾桑○松坂のぞみ	須崎 谷口きずな	須崎 十級編入	上分 なかじまあやと	須崎 谷口きずな	★新規	朝倉○根口このは	もうひつ一年	★十級	多ノ郷 ○山村みおり	★九級	
長岡 長岡 安井 猪野 雛子	★八段	西森 森本 大睦	浦ノ内 浦ノ内 日浦 浦靖仁	須崎 一ツ橋 久保田 湧乃介	浦ノ内 浦ノ内 谷口彩心	須崎 一ツ橋 久保田 湧乃介	★九段	審査 江西 澄翠	もうひつ一年	硬筆六年	審査 中平千友	★特待生	硬筆六年
後藤 まなか	★二段	上ノ加江 田中日向	長岡 豊	岡豊 長岡 寺田 永尾	浦ノ内 浦ノ内 寺田 永尾	五所 岡田 侑晟琉	★三段	越知 一ツ橋 岡田 侑晟琉	もうひつ一年	硬筆六年	審査 森本 寿山	★六段	岡豊 奥崎誠真 岡上真里
馬路 多ノ郷	★六段	一久礼 橋	浦ノ内 浦ノ内 押岡 矢野	初月 浦ノ内 川渕 結衣	浦ノ内 浦ノ内 宮地 輝翔	新莊 多ノ郷 森鍋島 光陽菜	★八段	審査 森本 寿山	もうひつ一年	硬筆五年	審査 森本 寿山	★七段	池川 藤原乙羽

第675回 硬筆成績

○印は昇級

★初段

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙
書道用具萬般乞来店

(株)

高知市南宝永町14-18
TEL (代) (882) 1394番
夜間・TEL (882) 1392番

(出晶票)

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

お願い
審査会に遅延する作品があ
ります。
投函前に郵便局で確認をお
願いいたします。

お知らせ

●第41回記念安芸全国書展(高新記載順)

入 優秀賞
大廣 大堀 深選 福賞
原末 石内瀬 原
桂幽 千仁綠 曉
園念 施峰堂 雲

●第68回須崎市総合美術展(書道の部)

獎励賞

褒推

無鑑査

松芝 田状 深薦 野野堀 小江前岡査
浦田 中瀬 中島内川西田崎
明春 恵綠 恵桂仁理澄秀緑
子琴 風堂 花山峰香翠華水

第66回 龍跳書道展出品票

◎楷書で丁寧に記入下さい。

キリトーリ

件 文		題名	大きさ	住所	氏名	ふりがな
			たて （半折・全紙横・連落等の書き方も可）	よ／ （左のいずれかを○でかこむ）	（午前9時～午後1時 午後1時～5時 最終日3時迄）	（午前9時～午後1時 午後1時～5時 最終日3時迄）
		懇親会	形式	電話	雅号	当番希望日
		未定	額・枠・軸・屏風	（ ）	ふりがな	○で囲んで下さい。
(姓　号)						
()						

※作品横（又は下）に添付します。丁寧に書いて下さい。

※連絡のない限り希望日の当番をお願いします。

※出品票は六月一十五日(日)審査田迄に必ず提出して下さい。

連絡・問い合わせ・送り先等

新規入会申込と会費の送金先

「龍跳誌」 冊数変更の通知先
〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三三一

隅田亘心

龍跳書道会

振替口座番号 01690-3-31925
電話 (〇八八九) 三五一〇九七一一番

月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話 (〇八八) 八六五一八八五七番

「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話 (〇八八七) 二九一二六五〇番

編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話 (〇八八九) 四二一三〇六七番

・送本についての連絡先
(冊数の相違等については当方へ)連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話 (〇八八九) 四七一〇七二二一番

あとがき

第66回龍跳展が目前に迫り、会員のみな様も最後の追い込みに入っている事と 思います。

出間先生は、「作品づくりに大切な事はまず、誤字がないこと、そしてバランス、線が命、又会場の広さに負けない様氣宇を大に!」とおっしゃっています。前年度より少しでもいい作品に仕上げる様頑張りましょう。

さて、会員減少問題の件ですが、私の教室では、せつかく龍跳展を開くので自分だけ観るのではなく、いろんな人に声を掛け足を運んでもらい書道(手書き)の楽しみを伝えています。他にも香美市の広報に山田教室の紹介文を載せたり、家庭の都合で現在お休みしている方にも声を掛け、地道に口こみ活動を続けています。

年に一度増員月刊など定め、会員一人一人が増員意識を高めていきたいものです。

月例競書課題

月例作品送り先	保育	年	年	年	年	小学六年	年	年	中学三年	半紙隨意	半紙規定	一般条幅	部別	締切日
〒783 0081 南国市片山四九〇 西山極山宛	う	せ	川	天の川	夏の大空	谷川の水	花鳥風月	川上の急流	任	山靜似太古	任	七月二十日締切	七月二十日締切	七月二十日締切
	り	み	風	夏休み	七色花火	田舎の道	温故知新	窓下有清風	意	意	意	八月二十日締切	八月二十日締切	八月二十日締切
	す	そ	台	夏休み	七色花火	田舎の道	温故知新	窓下有清風	任	日長如小年	任	意	意	意
	な	ら	風											

会費の送金について

会費：半年分 3,000円／1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は元料不要)

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

Ⓐ	1冊～3冊	80円
Ⓑ	4冊～8冊	150円
Ⓒ	9冊・10冊	210円

〈例〉 12冊 Ⓐ+Ⓐ=290円×月数

17冊 Ⓐ+Ⓑ=360円× "

30冊 Ⓐ×3=630円× "

◎会費と龍跳誌元料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ

{・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 関田亘心
・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
(お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分
誌代 ○円 / 元料 ○円

と記入のこと。

編集室	福原曉雲(本部)	江澄翠	野島桂山	中平美峰	江西峰	印 刷 所	發行所	電 話	電 話	須崎市東古市町一一一六	電 話
						(有) 笹岡印刷所	龍跳書道会	(六八)	(六八)	四二一〇二四四	(六八)